

附 則（令和5年3月 日改正）

- 1 この学則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 令和5年3月31日現在、在学する学生は、改正後の第4条、第10条、第19条、第19条の2、第30条、第35条、第36条の2、別表第3、別表第5、別表第6の定めに関わらず、なお従前の例による。

別表第1 経営情報学研究科経営情報学専攻教育課程(博士前期課程)

授業科目		単位数		備考
		必修	選択	
基礎分野	経営学特論		2	博士前期課程の修了要件は、必修科目6単位を含む32単位以上を修得し、修士論文または特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。
	情報処理基礎演習		4	
	データ解析基礎演習		2	
専門分野	会計学特論Ⅰ		2	
	会計学特論Ⅱ		2	
	会計学各論Ⅰ		2	
	会計学各論Ⅱ		2	
	税務会計特論		2	
	リスクマネジメント特論		2	
	マーケティング特論		2	
	財務管理特論		2	
	経営戦略特論		2	
	流通システム特論		2	
	経営科学特論		2	
	財務諸表分析特論		2	
	租税法特論		4	
	租税法各論Ⅰ		2	
	租税法各論Ⅱ		2	
	財政学特論		2	
	ベンチャービジネス特論		2	
	日本経済特論		2	
	地域ビジネス特論		2	
	公共経済学特論		2	
	システム科学特論		2	
	電子マネーシステム特論		2	
	教育情報システム特論		2	
	プログラミングデザイン特論		2	
	知能データベース特論		2	
	調査法特論		2	
	データ解析特論		2	
	ビジュアルシミュレーション特論		2	
	情報倫理特論		2	
	経営情報特論Ⅰ		2	
経営情報特論Ⅱ		2		
金融論特論		2		
特論演習	6			
合計		6	74	

別表第2 人文学研究科人文学専攻教育課程(修士課程)

授業科目		単位数		備考			
		必修	選択				
専 門 分 野	日 本 語 学 ・ 日 本 文 学 コ ー ス	日 本 語 学 特 論 I		2	教免(国語) 修了要件は、必修科目4単 位を含めて32単位以上を修 得し、修士論文の審査及び最 終試験に合格すること。 なお、所属するコース以外 の科目の修了要件への認定 は8単位を限度とする。		
		日 本 語 学 特 論 II		2			
		日 本 語 学 演 習		2			
		日 本 古 典 文 学 特 論 I		2			
		日 本 古 典 文 学 特 論 II		2			
		日 本 近 代 文 学 特 論 (A) I		2			
		日 本 近 代 文 学 特 論 (A) II		2			
		日 本 近 代 文 学 特 論 (B) I		2			
		日 本 近 代 文 学 特 論 (B) II		2			
		日 本 近 代 文 学 特 論 (C) I		2			
		日 本 近 代 文 学 特 論 (C) II		2			
		日 本 近 代 文 学 特 論 (D) I		2			
		日 本 近 代 文 学 特 論 (D) II		2			
		日 本 文 学 演 習		2			
		和 漢 比 較 文 学 特 論 I		2			
		和 漢 比 較 文 学 特 論 II		2			
		英 文 学 ・ 英 米 文 学 コ ー ス	英 語 学 特 論 I			2	教免(英語)
			英 語 学 特 論 II			2	教免(英語)
			英 語 学 演 習			2	教免(英語)
	英 文 学 講 読 特 論 I			2		教免(英語)	
	英 文 学 講 読 特 論 II			2		教免(英語)	
	イギリス小説特論 I			2		教免(英語)	
	イギリス小説特論 II			2		教免(英語)	
	英 文 学 批 評 特 論 I			2		教免(英語)	
	英 文 学 批 評 特 論 II			2		教免(英語)	
	言 語 学 コ ー ス	言 語 学 特 論 I		2		教免(英語)	
言 語 学 特 論 II			2	教免(英語)			
第 二 言 語 習 得 特 論 I			2	教免(英語)			
第 二 言 語 習 得 特 論 II			2	教免(英語)			
応 用 言 語 学 特 論 I			2	教免(英語)			
応 用 言 語 学 特 論 II		2	教免(英語)				

歴史と文化	歴史文化コース	日本歴史文化学特論Ⅰ	2	教免(地歴)
		日本歴史文化学特論Ⅱ	2	教免(地歴)
		アジア歴史文化学特論Ⅰ	2	教免(地歴)
		アジア歴史文化学特論Ⅱ	2	教免(地歴)
		欧米歴史文化学特論Ⅰ	2	教免(地歴)
		欧米歴史文化学特論Ⅱ	2	教免(地歴)
		地域歴史学特論Ⅰ	2	教免(地歴)
		地域歴史学特論Ⅱ	2	教免(地歴)
		歴史都市学特論Ⅰ	2	教免(地歴)
		歴史都市学特論Ⅱ	2	教免(地歴)
		日本文化特論Ⅰ	2	教免(地歴)
		日本文化特論Ⅱ	2	教免(国語)
		西洋美術史特論Ⅰ	2	教免(地歴)
		西洋美術史特論Ⅱ	2	教免(地歴)
		歴史文化学演習Ⅰ	2	教免(地歴)
		歴史文化学演習Ⅱ	2	教免(地歴)
	特 論 演 習	4		
		4	94	

別表第3 スポーツ健康学研究科スポーツ健康学専攻教育課程（修士課程）

授業科目		単位数		備考	
		必修	選択		
基礎科目	スポーツ健康学特論Ⅰ	2		修士課程の修了要件は、必修科目10単位を含む32単位以上を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。	
	スポーツ健康学特論Ⅱ	2			
	スポーツ教育科学実践特論		2		
専門科目	運動処方特論		2		
	運動適応特論		2		
	地域スポーツ活用特論		2		
	スポーツ心理学特論		2		
	トレーニング・コーチング特論		2		
	運動生理学特論		2		
	運動学特論		2		
	健康増進特論		2		
	スポーツ健康マネジメント特論		2		
	スポーツ医学特論		2		
	生涯スポーツ特論		2		
	体育史特論		2		
	スポーツ測定評価特論		2		
	メンタルトレーニング特論		2		
	情報科学特論		2		
	専門演習・実習科目	スポーツ教育科学実践演習Ⅰ			2
		スポーツ教育科学実践演習Ⅱ			2
スポーツ教育科学実践演習Ⅲ			2		
健康科学演習Ⅰ			2		
健康科学演習Ⅱ			2		
健康科学演習Ⅲ			2		
インターンシップⅠ			2		
インターンシップⅡ			2		
特論演習Ⅰ		2			
特論演習Ⅱ	4				
		10	48		

別表第4 経営情報学研究科経営情報学専攻教育課程(博士後期課程)

授業科目	単位数		備考
	必修	選択	
経営情報基礎研究	2		博士後期課程の修了要件は、必修科目2単位と授業科目の選択科目から8単位以上及び研究指導の8単位と合わせ18単位以上修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。
経営戦略研究		4	
経営科学研究		4	
公営企業経営研究		4	
経営統計研究		4	
会計システム研究		4	
地域経済研究		4	
労働経済研究		4	
問題解決システム研究		4	
マーケティング研究		4	
産業組織研究		4	
税法研究		4	
研究指導	8		
合計	10	44	

別表第5

経営情報学研究科（博士前期課程）（フレックス履修生を除く学生）

区 分		金 額	
入 学 検 定 料		30,000円	
学 納 金	入 学 金	200,000円	
	授 業 料 等	前 期	後 期
		授 業 料	295,000円
	教 育 充 実 費	160,000円	160,000円

経営情報学研究科（博士前期課程）（フレックス履修生）

区 分		金 額	
入 学 検 定 料		30,000円	
学 納 金	履 修 生 登 録 料	200,000円	
	授 業 科 目 履 修 料	履修登録した授業科目1単位 57,000円	

※授業科目を再履修した場合、再度履修料を納めなければならない。ただし、「特論演習」は、履修登録後、2年間有効である。

人文学研究科（修士課程）（フレックス履修生を除く学生）

区 分		金 額	
入 学 検 定 料		30,000円	
学 納 金	入 学 金	200,000円	
	授 業 料 等	前 期	後 期
		授 業 料	295,000円
	教 育 充 実 費	150,000円	150,000円

人文学研究科（修士課程）（フレックス履修生）

区 分		金 額	
入 学 検 定 料		30,000円	
学 納 金	履 修 生 登 録 料	200,000円	
	授 業 科 目 履 修 料	履修登録した授業科目1単位 56,000円	

※授業科目を再履修した場合、再度履修料を納めなければならない。ただし、「特論演習」は、履修登録後、2年間有効である。

スポーツ健康学研究科（修士課程）（フレックス履修生を除く学生）

区 分		金 額	
入 学 検 定 料		30,000円	
学 納 金	入 学 金	200,000円	
	授 業 料 等	前 期	後 期
		授 業 料	295,000円
	教 育 充 実 費	160,000円	160,000円

スポーツ健康学研究科（修士課程）（フレックス履修生）

区 分		金 額	
入 学 検 定 料		30,000円	
学 納 金	履 修 生 登 録 料	200,000円	
	授 業 科 目 履 修 料	履修登録した授業科目1単位 57,000円	

※授業科目を再履修した場合、再度履修料を納めなければならない。

経営情報学研究科（博士後期課程）

区 分		金 額	
入 学 検 定 料		30,000円	
学 納 金	入 学 金	200,000円	
	授 業 料 等	前 期	後 期
		授 業 料	295,000円
	教 育 充 実 費	160,000円	160,000円

※フレックス履修生を除く学生のうち、金沢学院大学または本大学院出身学生の入学金は免除する。

※フレックス履修生のうち、金沢学院大学または本大学院出身学生の履修生登録料は免除する。

別表第6 人文学研究科心理学専攻教育課程(修士課程)

授業科目		単位数		備考
		必修	選択	
専 門 分 野	保健医療分野に関する理論と支援の展開		2	必修科目4単位を含めて32単位以上を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。 なお、他専攻科目の修了要件への認定は8単位を限度とする。
	福祉分野に関する理論と支援の展開		2	
	教育分野に関する理論と支援の展開		2	
	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開		2	
	産業・労働分野に関する理論と支援の展開		2	
	心理的アセスメントに関する理論と実践		2	
	心理支援に関する理論と実践		2	
	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践		2	
	心の健康教育に関する理論と実践		2	
	心理実践実習 A		2	
	心理実践実習 B		2	
	心理実践実習 C		2	
	心理実践実習 D		2	
	計量心理学特論 I		2	
	計量心理学特論 II		2	
	行動分析学特論 I		2	
	行動分析学特論 II		2	
	心理支援法演習		2	
	高齢者臨床心理学演習		2	
プロトコル分析演習 I		2		
プロトコル分析演習 II		2		
特論演習	4			
	4	42		

○人文学研究科委員会規程

施 行 平成 20 年 4 月 1 日

(趣旨)

第 1 条 この規程は、大学院学則に基づき、人文学研究科委員会（以下「研究科委員会」という。）について必要な事項を定めるものとする。

(構成)

第 2 条 研究科委員会は次の各号に定める者により、構成する。

- (1) □審査判定を受けた教員及び人事に関する委員会においてこれに準ずると判断され、研究指導担当教員（「特論演習」担当の有資格教員）と認められた者。
- (2) 合審査判定を受けた教員及び研究科長と大学院委員長が協議し適当と判断した者。

(以下 (1)・(2)による教員を「大学院教員」という。)

(会議の招集)

第 3 条 会議は、研究科長が召集し、議長となる。

- 2 議長に事故あるときは、あらかじめ研究科長の指名する教授がその職務を代行する。
- 3 会議は、大学院教員を招集して開催する。
- 4 研究科長は、大学院教員の 3 分の 2 以上から請求のあったとき、会議を招集しなければならない。

(会議)

第 4 条 会議は、構成員の 3 分の 2 以上の出席をもって成立する。

- 2 議事は、出席者の過半数によって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(部会)

第 5 条 研究科委員会に、部会を置くことができる。

- 2 部会に関し必要な事項は、別に定める。

(議事録)

第 6 条 研究科委員会の議事については、議事録を作成し、議長が記名押印しなければならない。

(事務)

第7条 研究科委員会に関する事務は、教務部で取り扱う。

附 則

この規程は、平成20年4月1日より施行する。